

大きい木も
小さい木も
自分で立っている

ほんだ



新発田市立本田小学校

「自ら」挑戦した1学期

校長 多田 和幸

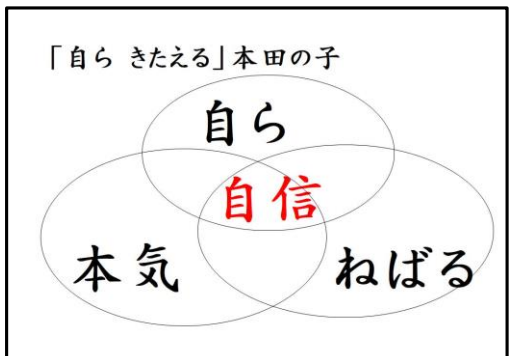
74日の1学期が終わろうとしています。

素直で純朴な本田の子どもたちが、より多くの仲間と、より広い社会の中で、自分のよさを存分に発揮できるように、今年度は「自信」を高める取組に力を入れてきました。教育目標「自ら きたえる」の「自ら」を大切にして、「自分で調べた」「自分で考えた」「自分でやり遂げた」・・・と、自分のよさを自覚しながら、「自信」につながる挑戦を重ねている姿が見られます。

日々の授業では、なぜだろう？解決したい！という問いや願いをスタートにした授業づくりに取り組んできました。教室から「よくわかりません。」「違うと思います。」という声が聞こえてきます。また、授業の終末で「〇〇さんの意見を聞いて、考えが変わりました。」とノートにまとめる子がいます。自分の「わからなさ」を大切にしたたり、仲間と考えを交流しながらよりよい方法を見つけ出したりする姿勢を、これからも応援していきたいと思ます。

児童会からの働きかけや各学級での話し合いを基にして、あいさつや言葉遣いなどを見直そうと取り組む姿も見られます。自分たちの生活を、自分たちの力でよりよくしていこうとする子どもたちに、頼もしさを感じます。

また、異常な暑さの中での運動会、4校合同自然教室、防災キャンプなど、様々な行事を通して、めあての達成に向かって努力したり、責任を持って役割を果たしたり、工夫して取り組んだり、「自ら」「本気で」「粘り強く」挑戦する姿がすばらしい1学期でした。



今年も七夕プロジェクトとして、短冊に願いを込めた七夕飾りが飾られました。「サッカー選手になれますように。」「パティシエになりたい。」「化石を探す人になりたい。」「字が上手になりたい。」「ピアノの発表会で上手いきますように。」・・・。叶えたい夢がある、願いがあるということは、すばらしいことです。そこには、必ず「自ら」があります。

まもなく夏休みです。子どもたちは、家での時間をどのように過ごしたいと考えているのでしょうか。普段できないことに挑戦する夏休み、「自ら」の取組がたくさんできる夏休みであってほしいと思います。

NRT学力検査の結果

4月に実施したNRT学力検査の結果をお伝えします。全国平均50に対して、本田小学校2～6年生全体の平均は、国語56.9、算数55.1という結果でした。おおむね各教科どの領域も、全国平均を上回る正答率でした。本田小学校の子どもたちは、高い学力を維持していると言えます。個々の児童の結果につきましては、家庭訪問の際にお伝えします。

学力検査では、多様な学力の一面しか見ることができません。これからも、豊かな体験や多くの人とのかわり、自ら考え解決する学びを大切にして、生きる力を育てていきます。

4校合同自然教室



6月12～13日。5年生は、乙の少年自然の家で、豊浦地区4小学校合同自然教室に行ってきました。他校の子どもたちと交流を深め、自立・協力・奉仕の態度を養おうというねらいでした。

野外炊飯、オリエンテーション、キャンドルファイア・カヌーなど、子どもたちは他校の5年生と積極的にかかわることはもちろん、あいさつや集団行動をすることがきちんとできました。学校ではできない体験を通して、協力することの大切さを学びました。



活動班は、4校の子どもたちが混ざった班編制でした。保育園以来、久しぶりに会う友達でしたが、すぐ仲良くなり力を合わせて、活動することができました。

防災キャンプ



4年生は、6月18～19日の1泊2日で、あかたにの家での防災キャンプに行ってきました。災害が起きたとき、どう行動すればよいかを学んできました。

防災カルタで基礎的な知識を得て、避難所での困り事を解決するにはどうしたらよいかを考えました。少量の水で食事を作る調理体験や体育館で一晩過ごす体験を通して、子どもたちは、もしもの時にみんなのために、自分ができることを真剣に考えることができました。



洗い物を少なくして貴重な水をあまり使わないように、新聞紙やラップを活用したお碗を作りました。工夫すればなんとかなる！ということも分かりました。

「命の重さを考える日」絵本朗読会

7月2日（火）



今年の「命の重さを考える日」は、日本骨髄バンクより講師をお招きし、絵本「春ちゃんは元気です」の朗読会を行いました。4歳で白血病になった少女のお話で、実際のお話を元にしてあります。講師の素敵な朗読で子どもたちはお話の世界に吸い込まれ、病気と戦いながら、生きることを強く求め続けている主人公の姿に深く共感することができました。子どもたちは、命を大切にすることは、ただ守ることではなくその命を輝かせることが大切だと分かり、命の重さやこれからの生活について考えることができました。